

ことばの名人

はじめに

あなたは国語の勉強が好きですか。

国語はすべての科目の土台です。国語が強くなれば、他の科目の勉強も自然に得意になります。では、国語に強くなりたい人にだけそと、その秘密をお教えしましょう。

それは、今からたくさんの「ことば」を覚えることです。そして、次にそれを使いこなせるようにすることです。そうすれば、いろいろな文章の内容もよく理解できるようになるし、作文も上手になります。

本書は、あなたの「ことば」の数をどんどん増やし、あなたを国語好きにするために作られています。そのために、各回の最後にある「家庭学習用課題」をきちんとやりとげることは特に重要です。ぜひ本書を最後までやりとげ、「国語の名人」になって下さい。

本書の3大特色

1. 入試に必要とされる「ことば」をマスターできる。

国語の入試問題によく出題される説明文や論説文には難しい「ことば」がたくさん使われています。

また、「傍若無人」などの四字熟語や「寄らば大樹の陰」などのことわざもよく出題されています。入試では、それらの意味がわからないと問題を解くことができません。本書は、過去の入試問題に出題された重要かつ頻度の高い「ことば」を重点的に収録しています。そのため、本書をやりとげれば、効率的に国語の得点力アップをはかることができます。

2. 「ことば」の数を増やし、それらを使いこなすことができる。

本書の「家庭学習用課題」には次の3つの大きな意味があります。

- (1) 問題の解答以外の意味やその他の重要語もとり上げているので、「ことば」の数をさらに増やすことができます。
- (2) 辞書で調べたり、文章を音読したりと、「ことば」を様々な方法で学習するために、知らず知らずのうちに国語力をつけることができます。
- (3) 重要語を使った短文作りを通じ、その「ことば」を使いこなせるようになります。

3. 社会科にも役立ち、作文・小論文の力もつく。

本書は、日本国憲法や公民分野からの文章も収録しています。これによって、社会科の知識も増え国語以外の教科書を読みこなす力もつきます。また、重要な「ことば」を使って文を作る課題をこなすことで、作文力がつき大学入試に必要な小論文を書く力も養成できます。

1 次の空所に当てはまることばをア～エから一つ選びなさい。

- ① 外国人との（ ）交渉は彼のような人が適任だ。
 ア 著しい イ わずらわしい ウ とげとげしい
 エ すさまじい

② 子供に向かって母親は、まったくあきれた子だと顔をした。

- ア 甘い イ 渋い ウ 赤い エ 青い

③ この店もこの辺りの商店の例（ ）、店じまいは早かった。

- ア になく イ をあげて ウ にもれず エ とはいえ

2 次の傍線の意味として正しいものをア～エから一つ選びなさい。

① それは見るもおぞましい、この文明化された世界に存在を認めがたい光景だった。

- ア 悲しい気持ちにする イ 同情したくなる

ウ いやな感じのする エ 汚らわしい

② 彼は中学教師のかたわら、遺跡の発掘に携わっている。

- ア なまけて イ その一方で ウ そばで

エ 助けながら

③ 母はその日、やつきになって家事を終わらせようとしていた。

- ア 真剣に イ いやいやながら ウ 手際よく

エ むきになって

3 次の空所に当てはまることばをア～エから一つ選びなさい。

① 時には天然の処理場にもなる湖の働きは到底河川では（ ）できない。

- ア 裏打ち イ 網打ち ウ 太刀打ち エ 綿打ち

② 彼はそのときずっと体中の（ ）がひいた。

- ア 血色 イ 血の気 ウ 寒気 エ 潮

4 次の①～③に当てはまることばをア～エからそれぞれ一つ選びなさい。

ところで、そうやって日記に考えを書きつけていくと、「こ

れってちょっと」^①（考えたなあ」とか「やっぱりこれで

いいんだ」と思うことがある。つまり浮かんできた考えに

（^②）を覚えたり、深く納得したりし始めるのだ。こうし

ていつのまにか考えを吟味・検討する（^③）の作業が始ま

る。この作業をはつきりと意識して行うなら、それがそのま

ま論文になるのである。【北海道】

① ア 勝手な イ 勝手が違う ウ すばらしい

エ ご存じの

② ア 満足感 イ 違和感 ウ 絶望感 エ 優越感

③ ア 半信半疑 イ 粉骨碎身 ウ 自問自答

エ 疑心暗鬼

1

| | | |
|---|---|---|
| ③ | ② | ① |
|---|---|---|

2

| | | |
|---|---|---|
| ③ | ② | ① |
|---|---|---|

3

| | |
|---|---|
| ② | ① |
|---|---|

4

| | | |
|---|---|---|
| ③ | ② | ① |
|---|---|---|

第1回 解答と解説

1 イ… 面倒で気が重いこと。

② イ… ここでは「機嫌が悪い」様子を表す。

③ ウ… 「例にもれず」は「一般の例と同様に例外ではなく」の意味。

2 ① ウ… 見てぞつとするような場面で使う。

② イ… 「自分のかたわらに置く」のようにも使う。この場合の「かたわら」は「そば・近くに」の意味。

③ エ… 「躍起」と書く。「躍」は高くはねあがる意を表す。

3 ① ウ… 「太刀打ち」とは、もともと刀で戦うこと。

② イ… 「血の気」は「顔の血色」の意味。

4 ① ア… この「勝手」は「わがまま」の意味。

② イ… 調和がとれていない感じ。

③ ウ… 自分に問いかけて、自分で答えるようにして考えること。

より広い知識のために

第1回 家庭学習用課題

月 日

(1) 日常あなたにとって「わずらわしいこと」とはどんなことか。

(2) 「渋い色」とはどんな色か。

(3) 「見るも（おぞましい）」の（ ）の部分₍₁₎を他の表現にして短文を作りなさい。

(4) あなたにとって「到底太刀打ちできない」のは、だれに対する、どんなことですか。

(5) 「やつきになって」を使って短文を作りなさい。

(6) 「身体に違和感を感じる」とは、どういうことですか。

(7) 次の文章の傍線部に注意して音読しなさい。

日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、われらとわれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたって自由のもたらす恵沢₍₂₎を確保し、政府の行為によって再び戦争の惨禍₍₃₎が起ることをないよう₍₄₎にすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。

(日本国憲法前文より)